

「規格外」農産物アイスに変身

イチゴソフト、トマトジェラートなど人気

道内で「規格外」の野菜や果物を使ったソフトクリームやジェラートが人気だ。「市場に回らなくても味は変わらない。何とか活用したい」との生産者の思いが実を結んだ。「たまには変わり種も食べたいな」なんて気分の方はないですか？

コンビニでも販売中

札幌市農協の直売所「J Aさっぽろ地物市場」の4、11月の間、数週間から「さと」(石狩市)のカフェコーナードでは、形が崩れていたり、出荷サイズから外れたりした野菜や果物を使用した「ベジソフト」を販売している。その後は、ホウレンソウ、カボチャ、落花生と続



「とれのさと」で販売されるイチゴのベジソフト(北海道新聞社提供)

「規格外ソフト」を生み出したきっかけについて、同農協は「特に野菜嫌いな子どもにも食べてもらえるのでは」と考えた。

コンビニでも規格外素材を使った商品が売れている。道内最大のセコマが展開するセイコマートでは、華やかな味わいが特徴の「北海道メロンソフト」が人気だ。



人気の農家のアイス「ジェラトマ」(北海道新聞社提供)

留萌管内苫前町の農家からセコマのグループ企業「ダイマル乳品」に持ち込まれた相談がきっかけだった。「規格外のメロンを活用できないか」。同社は早速、開発に取り組み、ソフトクリームとして2006年から販売を始める一方、改良も重ねた。その結果、累計2160万個を売り上げる人気商品に育て上げられた。

メロンソフトを契機に、胆振管内厚真町のハスカップ、北見市、オホーツク管内滝上町のハッカ、上川管内当麻町のでんすけスイカを材料にしたソフトクリームもお目見えしている。ジェラートも人気だ。石狩市の「とれのさと」で販売する「農家のアイスGELATOMA(ジェラトマ)」は、酸味の中に甘みが混じる独特の味わい。小格的に販売開始し、今ではさかたり、傷がついて出荷できずに捨てられるミニトマトを使用。23年から本

道新、新本社ビルが完成 11月に開業予定

創刊以来、本社移転は初めて。新本社ビルは地上9階地下1階で、延べ床面積約2万平方メートル。メディアセンターと位置づけ、1階に地域の企業・団体が新商品の発表会や講演会に利用できる多目的スペース「DO BOX EAST」を設けた。動画ニュースなど道新の各種媒体を閲覧できるデジタルサイネージ(電子看板)も設置。11月初めには、同スペースを使い、初のイベントとして根室管内別海町や胆振管内豊浦町など、9

道内中国間の直行便の減少で推移、今後も増加傾向が続いていることや、道内空港の出入不足などで、道内観光客の減少が懸念されている。道内観光客の減少が懸念されている。道内観光客の減少が懸念されている。

室蘭駅10月から無人化

利用客が減少、今後の拡大も困難

特急の発着駅でもあるJR室蘭駅が10月1日から無人化されることになった。JR北海道(北海道倶楽部会員)が発表した。利用客の減少が続く、今後の拡大も見込めない、というのがその理由。この結果、室蘭市内に7つある駅のうち、有人駅は東室蘭駅だけとなる。



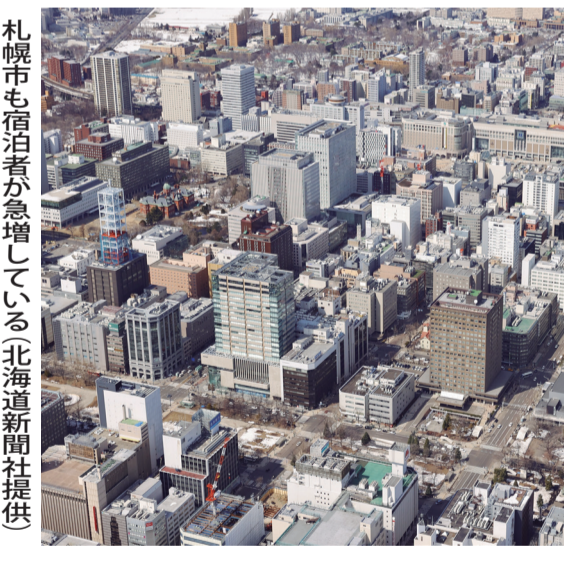
無人化される室蘭駅(北海道新聞社提供)

室蘭駅は室蘭線の東室蘭駅から延びる支線の終着駅。電化され特急も運行しているが、2023年度の乗車人数は1日あたり521人に過ぎない。このため、JR北は無人化に踏み切るようになった。現在、みどりの窓口があり、JR北のグループ会社の社員3人が土日祝日を含む

めて交代で勤務。10月以降の特急券の販売などは、すでに設置済みの遠隔で切符の買い方を説明する「話せる券売機」の活用を勧める。また、列車の遅れや運休を知らせる案内モニターを設ける計画だ。JR北は「利便性が低下しないようサービス維持に努めたい」と話す。

道内訪問者昨年3963万人に 過去最多を更新

昨年(確定値)が延べ3963万人(前年比35.9%増)に上り、過去最多だったことが北海道運輸局のまとめで分かった。コロナ禍の影響が和らいで観光客が増加、これまで最多だった2019年(3698万人)を更新した。ただ、外国人宿泊者は14.8%増の3250万人、19年を433万人上回った。インバウンドも前年比8.3倍の713万人と急増している影響などで、19年の中国との直行便再開が遅れている影響などで、19年の同運輸局は、コロナ禍で



札幌市も宿泊者が急増している(北海道新聞社提供)

北海道新聞社の本

- ★ももが行く ほっかいどうくいきん坊のスローライフ 1760円
- ★イラストレーターすずきももさんが実際に訪れた道内各地の風景や食をすてきなイラストで紹介。JR北海道特急列車の車内誌連載記事を書き綴る。
- ★2025カレンダー1 しまえながのきもち 写真・山本光一 149×212mm 卓上式 月めくり 定価1100円
- ★2025エゾモモンガカレンダー1 もも日和 写真・高橋賢悟 149×212mm 卓上式 月めくり 定価1100円
- ★カレンダー1 北海道の鉄道風景2025 北海道新聞社編 A3判(開くとA2判) 壁掛け式 月めくり 定価1540円



市町村による物産展を開く。後にも使命を果たし、新しいビジネスを展開していく。竣工式で、同社の宮口宏とで、北海道の発展と道民の暮らしの向上に貢献したる言論、報道機関として今

札幌から西友店舗消える イオン北海道など継承

西友(東京)の札幌市内西町店は9月30日に閉店。9店舗が9月末、閉店した。朝から「西友」との別れを惜しむ買い物客が次々に訪れた。近くのマンション住民は「道路を挟んで向かい側には西友が構えていた。イオンが引き継ぐとはいえず、寂しい」と話した。西友の名前が消えるのは寂しい。西友は1973年、月寒店を開店して以来、道内での半世紀の歴史に幕を閉じた。170億円で買取、10月からは店舗を引き継ぐ、と発表していた。西野や西町、宮の沢地区などの「旗艦店」だった。

北方領土問題への北海道の取組について

北海道は、北方領土問題の解決を道政上の最重要施策として位置づけ、北方領土問題の早期解決に向けた国の外交交渉を後押しするため、必要な諸対策を積極的に推進しています。

今回は、北海道が行っている取組の一部を紹介します！



1 「北方領土サポーター」制度

北海道では、道内の中学生や高校生、大学生等が北方領土問題に興味や関心を持ち、北方領土返還要求運動に参加しやすい環境を作るため、「北方領土サポーター」制度を設けています。

北方領土サポーターには、北海道などが行う啓発活動（街頭行進やイベントでの啓発）への参加や、啓発活動の企画・実施をいただいています。

啓発活動などに参加することで、同世代のサポーターと交流したり、北方領土に関する知識を深めることができます。

サポーターの活躍の様子はこちらから！



○北海道北方領土対策本部
YouTubeチャンネル



北方領土サポーター企画
文化祭での証明活動



北海道・東北国民大会
啓発街頭行進（8月札幌市内）

2 北方領土サポーター探求プロジェクト～リレー講座～

北海道では、北方領土問題について理解を深めてもらうため、オンライン講座を実施しています！参加費は無料ですので、ぜひご参加ください！



対象：北方領土サポーター
一般希望聴講者

開催方法：ZOOM
申込方法：QRコードよりお申込ください▶▶

3 啓発イベント「北方領土返還への架け橋」

2月7日の「北方領土の日」を中心とした「北方領土の日」特別啓発期間に合わせ、北方領土問題や北方領土隣接地域を紹介する啓発イベントを、札幌駅前通地下歩行空間の北大通交差点広場で実施します！

イベントでは、北方領土に関するパネルや北方領土イメージキャラクターのエリカちゃんとのフォトスポットの設置、北方領土隣接地域の特産品が当たるガラポン抽選会を実施する予定です。

会場には、署名コーナーを常設します。
署名の御協力をよろしくお願いいたします！

皆様のご来場
お待ちしております！

期間

令和7年
2月1日(土)～15日(金)

場所

札幌駅前通地下歩行空間
北大通交差点広場(西)



啓発イベント（8月チカホ）

北海道では、上記で紹介した以外にも、年間を通じて様々な取組を行っています。今後も、北海道倶楽部との連携をより一層強化して啓発活動などに取り組んでまいりますので、会員の皆さん、啓発活動への積極的なご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします！



北方領土返還要求運動の
シンボルの花「千島桜」

詳しくは…

北海道総務部北方領土対策本部

検索



お問合せ先：北海道総務部北方領土対策本部 電話：011-204-5069（直通）

道内

パークゴルフ場が減少

昨年度は5カ所が閉鎖

シニアのスポーツとして人気を集めた、パークゴルフ場が道内で減っている。昨年度は少なくとも5カ所が閉鎖した。コロナ禍で競技離れが進んだことなどが背景にあると見られ、日本パークゴルフ協会(十勝管内幕別町)の道内会員数も、ピーク時に比べ7割も減少した。約40年前に道内で生まれたパークゴルフは、ま、正念場に立たされている。

コロナ禍の競技離れなど影響か

公認コースは16年のピーク時に196カ所。ところが、今年4月時点では169カ所に減り、昨年度は非公認コースを含め、札幌、旭川、函館、千歳、恵庭の5市にある計5カ所の民間コースが閉鎖となった。

新穂別博物館近く着工 「むかわ竜」常設展示へ

胆振管内むかわ町は、胆振東部地震の影響で建設が遅れていた、新しい穂別博物館を近く着工する。2026年春完成予定で、道内初の新属新種の恐竜「カムイサウルス・ジャポニクス」(通称・むかわ竜)の化石を常設展示する予定。入浴施設とカフェを合わせた「温浴カフェ」などを併設、過疎化が進む穂別地区に、にぎわいを創出したい考えだ。



パークゴルフを楽しむ人たち(恵庭で、北海道新聞社提供)

パークゴルフは1983年に幕別町で誕生、道内外に広がった。90年代後半から2000年代初めにかけて、健康増進や地域活性化

を目的に、道内の多くの自治体や企業が、競うようにパークゴルフ場を次々に造り出した。同協会によると、道内の

1982年にオープンした現在の博物館は老朽化が進行。セキユリテイの関与で、むかわ竜の化石は展示できず、代わりに全長8メートルの恐竜レプリカを展示している。

新博物館の開館に先駆け、来年3月には敷地内に温浴カフェや車中泊専用のRVパークが開業。博物館や関連施設の総工費は約22億円を見込んでいる。

同町穂別地区は胆振東部地震後、人口流出に歯止めがかからず、過疎化に拍車がかかると見られる。町は「地区外から人を呼び込むことで、穂別地区に活気を取り戻したい」と期待を寄せている。



東京・上野の国立科学博物館に展示された「むかわ竜」の全身骨格(左側)とレプリカ(右側)

大型のガ「クスサン」が札幌などで大発生

ススキノでも確認

大型のガ「クスサン」が、今年も札幌市内などで大発生し、市民を困惑させている。中央区や西区の一部地域では数十匹単位で飛び交う姿も。上川、後志管内でも羽化が確認された。

クスサンは羽を広げると10〜15センチにもなる。羽化のピークは例年8月下旬から9月上旬にかけて。大きいだけで、特に

毒などの害はないという。道内では2006年から12年まで大発生が続き、その後は一時途絶えたものの、22〜23年に再び各地で大群が確認された。札幌での大量発生は23年が初めてで、今年もススキノ(中央区)や定山溪(南区)などでも数十匹が確認されている。

同市西区の市営地下鉄

琴似駅近くのビルでは9月2日夜、30匹以上のクスサンが飛び交い、近くの会社員は「1匹だけだとそこまでではないが、何匹も集まると気持ち悪さが倍増する」。

クスサンの調査をする専門家によると、大規模な発生が確認されているのは全国で道内だけ。明確な原因は分かっていないそう。



ビルのライトに集まるクスサン(札幌・西区で、北海道新聞社提供)

環境事務所にクマ専門官 道内は札幌と釧路に

ヒグマやツキノワグマの住宅地などへの出没が相次ぐ中、環境省は人身被害を防ぐ目的で、道内2カ所を含む全国5カ所の地方環境事務所に2025年度から「クマ対策専門官」を配置する方針だ。

自治体をまたぐ広い範囲でクマが移動するケースで調整役を担う一方、生息状況の調査にも取り組み、関係機関への助言を行う。クマ対策の専門職員は5人の配置を計画。道内では

北海道地方環境事務所(札幌)、釧路自然環境事務所にそれぞれ1人を置く。25年度予算の概算要求に3億円を計上する見込み。同省は今年4月、全国で人身被害が相次ぐクマ類を二ホンジカ、イノシシに次いで、指定管理鳥獣に指定した。道県や市町村など関係機関との連携を強化するのが狙いで、「人身被害を防ぐため、迅速な対応を取れる体制を構築したい」としている。

北斗声

権力者の座とは、それほど心地良いものなのか? 「パワハラ」「おねだり」疑惑などで告発され、県議会全議員からも三行半を突き付けられた兵庫県の斎藤元彦知事。県政の停滞をよそに、最後「あがき」を見せている。

何カ月も報道されているので、疑惑の詳しい説明は避けるが、合理的な説明もないまま、告発を「嘘八百」などと非難し懲戒処分。結果的に告発者の元同僚幹部を「死亡」に追い込んだ。公益通報者保護法にも違反することは明らかだ。

県議会百条委員会での斎藤氏の答弁は、肝心な部分は「記憶がない」のオンパレードだった印象が強い。だが、部下に対して無理難題を命じるなど、権体質も改めて浮かびあがった。

四面楚歌の中で今後、斎藤氏はどう出るか。すでに不信任案は可決されたため、議会を解散するか、自ら失職するしか道はない。「権力への執着はもういい加減に」。県民の声は一致しているという。

これを「対岸の火事」と見過ごしてはいけない。道内を含め、過去に何度もこんな政治家らの不祥事が繰り返されている。「実るほど頭を垂れる」を肝に銘じてほしいものだ。

(北)

SAPPORO 大人の生ビール 黒ラベル. 完璧な生ビールを. SAPPORO logo and product image.

ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。 www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

やくも 八雲町のご紹介

「日本で唯一」 二つの海をもつまち 八雲町

観光スポット

○噴火湾を一望 道立公園 噴火湾、パノラマパーク&「ハーベスター・八雲」や、周辺おすすすめスポット 道立公園噴火湾パノラマパークは、年間入込客数約70万人を超える代表スポットのひとつです。噴火湾を一望する丘には、オートキャンプ場、パークゴルフ場、まきばの冒険広場など、家族でアウトドアを楽しめる施設が整備されています。この公園は高速道路から降りずに利用でき、高速道路PAに併設されるパノラマ館にはキッズアリーナやカフェが設置されています。

○発祥から100周年 北海道といえは木彫り熊 雲が発祥の地 北海道木彫り熊発祥の地として2024年3月に100周年を迎えました。木彫り熊の起源は、徳川農場主である徳川義親公が1922年にスイスを旅行している際に木彫り熊を見つけた、熊狩りや農作に持ち帰ったスイスの熊や、雲町木彫り熊資料館ではこの持ち帰ったスイスの熊や北海道木彫り熊第1号のほか、八雲で作られ続けている木彫り熊や北海道内の木彫り熊も展示しています。木彫り熊以外にも、八雲と尾張徳川家とのかわり、

また、同公園内には、八雲町や近隣市町村の特産物、観光情報を発信する八雲町情報交流物産館「丘の駅」が設置されています。公園周辺には、日本ケンタッキーフライドチキンの実験農場として開設され



まきばの冒険広場



パノラマ館

また、同公園内には、八雲町や近隣市町村の特産物、観光情報を発信する八雲町情報交流物産館「丘の駅」が設置されています。公園周辺には、日本ケンタッキーフライドチキンの実験農場として開設され



○熊石あわびの里フェスティバル あわび養殖地である熊石地域ならではのイベント。あわびの販売はもちろん、飲食ブース・物産販売などが多数出店。ステージショーのほか、例年開催される人気ビッグ大会などの各種ゲームでは豪華景品が用意されています。また、購入したあわびをその場で焼いて食べることができ



また、同公園内には、八雲町や近隣市町村の特産物、観光情報を発信する八雲町情報交流物産館「丘の駅」が設置されています。公園周辺には、日本ケンタッキーフライドチキンの実験農場として開設され

また、同公園内には、八雲町や近隣市町村の特産物、観光情報を発信する八雲町情報交流物産館「丘の駅」が設置されています。公園周辺には、日本ケンタッキーフライドチキンの実験農場として開設され



○北海道三大あんどん祭り 毎年7月の第1金・土の2日間にわたって開催される、夏の夜を彩る一大イベントで、令和6年に40周年を迎えました。斜里町「しれとこ斜里ねぶた」、沼田町「夜高あんどん祭り」とともに北海道三大あんどん祭りとして知られ、各団体が明かりを灯した山車や踊り、演奏などのパフォーミングスを通して町を練り歩きます。

炭火焼コーナーもあり、近隣市町村にとどまらず、札幌などの道央圏からも多数訪れるイベントとなっています。

八雲町へのアクセス

URL: <https://www.town.yakumo.lg.jp/soshiki/seisaku/content0310.html>



○熱田神社日本で唯一の分社 八雲神社は、1878年に旧尾張藩主徳川慶勝公が開拓し、移住した旧藩士たちが故郷の熱田神宮神符と尾張徳川家歴代の神霊を祀り、産土神としたのが起源です。1887年に熱田神宮の分霊を仰ぎ日本に唯一の分社となり、1934年には徳川慶勝公が合祀されました。

○日本海水深343mから熊石海洋深層水 熊石海洋深層水は、日本の水深約200m以深に存在する「日本海固有水」と称される海水です。地域では、エゾアビの飼育等水産分野や、飲食食品製造などで利用されています。熊石海洋深層水は販売スタンドで購入ができます。

○400年以上の歴史 熊石地域神社例大祭 「根崎神社例大祭」「北山神社例大祭」「相沼八幡神社例大祭」は、400年以上の歴史があると言われてい

○内浦湾(噴火湾)は温泉の宝庫 内浦湾は、北海道南西部にある湾(直径約50kmの円)です。噴火湾という名前は、1796年に当地を訪れた英国船の船長が、内浦湾がほぼ円形なことと、周を取り囲む北海道駒ヶ岳や有珠山などの火山を見ながら「Volcan Bay」と語ったことが由来と言われています。そのため、周辺の市町村には必ず温泉があります。八雲町内には、古くから湯治場として利用されてきた名湯、秘湯など、個性豊かな温泉が町内に点在しています。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。

八雲町は、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海をもつ町で、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、比較的温暖な地域です。海、山、川の豊かな自然に恵まれた環境の中で、農業や漁業が盛んに行われています。医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備され、日常生活には不便のない都市機能を備えた「ちよっぴい田舎」です。また、北海道新幹線札幌延伸の際は、八雲と札幌間が約55分で結ばれる予定です。